

スポーツツーリズムの取組の現状報告 (H29の取組についての進捗・最近の取組についての共有事項) (資料8)

H29年度取組

① **スポーツを活用した新たな旅行需要の創出**

- モンベル様と地域活性化に関する包括協定を締結。サイクルツーリズムを中心とした旅行需要喚起について協議を行ってきた。
- 1月には座位を保てない車いすの方にスキーをお楽しみいただくための企画「車いすで雪あそび」ツアーを実施。障がい者が旅に出てスポーツ・アクティビティを楽しむことを後押しするような取り組みを進めた。

② **スポーツを通じた社会への貢献**

- 将来的なスポーツ活性化を目的として「JALネクストアスリートプロジェクト」を展開。H29年度は9都道府県で子供を対象としたスポーツ測定会を実施し、どの分野に自分が向いているのかを気づききっかけとなるような取り組みを行った。
- アスリートや競技団体に加え、ホノルルマラソンをはじめとしたマラソン大会や各種スポーツイベントに協賛しており、昨今では障がい者が一緒に参加できる取組みにも注力している。

H30年度取組

H29年度に実施した左記施策の継続と共に、新たに以下の取り組みを推進。

●サイクリング

受託手荷物として自転車が受託できる輪行箱（SBCON：エスピーコン）を開発・運用し、自転車愛好家に安心して空路を利用してもらうことにより、様々な地域への送客を図ることで交流人口の拡大に努める。

●ラグビー

翌2019年に日本でワールドカップが開催されることもあり、日本代表オフィシャルエアラインとして大会機運を高め、国内・際のツーリズム需要拡大につなげる。（例：釜石新スタジアムこけら落としイベントへの協賛等）

●剣道

外国人観光客を日本に呼び込む手段の1つとして、剣道ツーリズムを推進し、大学や自治体と協力して新しいツーリズムの流れを創る。

※1ページに収まらない場合は本ページにも記載ください。

### H30年度取組

#### ●SBCON (エスピーコン) の開発・運用

##### ○目的

破損リスク低減による、愛用自転車持参の旅行者の移動を容易にし、各地域への誘客を促進し、活性化へつなげる。

##### ○モニターツアーの実施

8月24~26日、2泊3日

##### ○コース

広島空港~松山空港 (しまなみ海道)

##### ○参加人数

10名

